

海老名市立中新田小学校学校運営委員会協議会 議事録
(令和5年度 第3回)

- 1 日時 令和6年3月7日(木) 10:00~11:45
- 2 場所 海老名市立中新田小学校 生活科室
- 3 出席委員 笠原祐治委員長、檀浦かおり副委員長、鍵渡香代子委員、市川潔委員、猪飼誉之委員、林麻佐美委員、山本源委員、蕪木扶由美委員、久保田祐子委員、石田雅樹委員、

4 会議の内容

(1) 会長挨拶

本日6年生が奉仕作業よく頑張っている風景を見た。よい1年間が終わろうとしていると感じた。中新田小学区の地域開発が進んでいる。情勢をよく見ておく必要がある。

(2) 学校長挨拶

今年度は、制限がなくたくさんの行事ができて、子ども達はのびのびと楽しく生活ができた。行事では、たくさんの方に支えていただいたお陰と感謝している。たくさんの方があって、あつという間に感じる。今年度の報告を行いたい。

(3) 今年度の学校教育活動 及び 学校教育アンケートの報告

今年度の教育活動についての報告では、行事について中心に報告。制限が無くなったとは言え、全てコロナ禍前にただ戻すのではなく形を変えて開催した。

運動会では、観客の制限は無しでたくさんの方の地域の方に応援にお越しいただいた。コロナ禍で係ができないことから徒競走の順位付けを無くしたのだが、配慮の必要な子も混ざって一生懸命走った結果を全校の前で、「1位」とか「ビリ」とかを公表する必要は無く、頑張ったことをみんなで応援したり拍手を送ったりできることが良いとの考えから、順位無しを継続。学年競技と演技を組み合わせ発表して時間短縮を図り、午前開催を継続。

音楽会は、1日目は、全学年が一堂に会する校内の会を行い、2日目は、保護者に公開を行った。児童は、2日目は、緊張しながらもおうちの方に見てもらえるこの会を楽しみに頑張っていた。練習では、うまくいかず様々なドラマがあるが本番でうまくできたり、拍手をもらったりして達成感を味わう良い経験になっている。

もちっ子ひろ場では、PTAや自治会の方のお力をお借りして、大賑わいの充実した行事となった。以前は、地域の方やPTAの方に子ども達が楽しませてもらうイベントであったが、外部の方にお越しいただけない時期を経て、子どもが主体となって行う児童会行事として開催している。

地域交流としては、地域の方のご協力により田植え・かかし祭り・もちっ子があげられる。

海老名高校との交流は、「ひるえび」にバトン部がダンス披露をしに来てくださった。2回も

来てくださり、子ども達の憧れとなっていた。合唱部は日程調整がつかず、放課後学童クラブの子ども達に合唱をしに来てくれた。次年度は、早めに調整して音楽会の前に来て子ども達に披露して欲しい。陸上部の生徒が、連合運動会前に6年生のリレー選手の朝練に指導に来てくれた。高校生に教えてもらって張り切る様子があった。

えびな支援学校は、3年生がまち探検の際に校内見学から高等部生徒のリードの下、レクリエーションをさせてもらった。居住地交流のお子さんを見かけて声をかける場面もあり交流が根付いている。中新田小学校の音楽会に小学部のお子さんをお招きして楽しんでもらったのではないと思う。文化祭にも複数の学年が参加させてもらった。支援学校を地域にある施設としてではなく、地域の学校と認識しつつある。コーディネーターの先生にお越しいただき道德朝会で講話もしていただいた。

海老名幼稚園さんには、先日、1年生と年長さんとの交流できていただいた。1年生が入学前に「心配だったこと」「楽しみだったこと」を思い出しながら、年長さんが入学を楽しみになるように工夫した活動を考えて行っていた。「給食が心配だったから、写真を撮って見せてあげたい」とか「ランドセルが重くて持てるかなと思っていたから、背負わせてあげよう」「勉強難しいかもって心配だから、教科書を見せてあげよう」など1年生がお兄さんお姉さんとして頑張っていた。

この会にお越しいただいている方のご縁でたくさんの活動が行えているので、引き続きよろしくお願ひしたい。

【報告を受けて】

(鍵渡委員) 小学校との交流がとても有意義であった。

年長児が小学校入学に不安を感じている子が増えている。中でも先日の「うずら卵の窒息事故」の影響もあり、小学校給食への不安を持っている子が増えている。残食の指導の仕方などについても保護者から問い合わせがあった。その都度丁寧に小学校に引継ぎを行っていきたい。

(猪飼委員) バトン部生徒が「小学校での発表がとても楽しかった」と校長室まで報告にきた。

次年度は年度当初から計画的に交流の機会を設けたい。部活動の様子から、コロナ生活で先輩後輩の関係の築き方や部活動の経験が不足している様子が見られる。そういった面を知って指導にあたる必要がある。

(林委員) 地域の方に「えびな支援学校」を知ってもらうことが課題である。その意味で小学校児童が見学に来てくれたり、居住地交流があったりしてありがたい。

子どもだけでなく職員も交流を増やし、教育的ニーズのあるお子さんに対応するための研修を行うなどセンター的機能を活かしたい。

(山本委員) 園長の話を受けて、デリケートな親、子が増えていると感じた。そういった問題に対応していくのが難しい時代だと感じる。

(蕪木委員) 中新田小の特長として地域の密着度が高いと感じた。継続してもらいたい。

(市川委員) 「もちっ子広場」で子どもたちが目を輝かせて喜んでいる姿を見るとやりがいを感じる。昨年度は、餅700食だったが、今年度は、餅1,000食配食した。大勢の方が来てくれた。高校との関わりは、ありがたいを思っている。

(久保田委員) コロナ禍は人を招くことができなかった。今年のような交流が戻って有りがたい。協議会を通して海老名高校さんとのつながりができた。(ひるえびの活動) 互いに知恵を出し合いながら協力していきたい。

(笠原委員長) 中新田小学校の特長として、地域密着型の学校である(学区に3つも県立学校がある。)そして、運動会の考え方(順位を付けない)にあるようにユニバーサルの考え方も学校の特長と言えるのではないか。

【学校評価アンケートについて】

概ね学校の活動を評価していただいている結果であった。学校の活動をご家庭にきちんと伝えることが大切であると考えている。

(4) 卒業式練習の参観

式次第の中にある卒業生「呼びかけ」の練習見学。初の通し練習であった。一人一人の台詞間隔が詰まらないよう、手拍子を入れて練習していた。

上手に台詞が言えていた児童をピックアップし、みんなで誉めた。どこが上手かを確認して自分の表現に活かしていた。

(笠原委員長) 一方的な高圧指導でない様子が見られてよかった。本番までの成長が楽しみ。

(5) 協議「次年度の学校教育にむけて」

- ・令和6年度のグランドデザインをグループごとに見直しをしてマイナーチェンジをした。
- ・児童の登校時刻を10分遅らせることとした。職員の勤務は8時30分からであるが、児童の登校を8時からにしていた。就業時間前に出勤している職員が児童対応に当たっている状況なので、職員に出勤時刻の見直しと合せて、ご家庭にもご協力をお願いした。

説明についてのご意見・ご質問は、特になし。

- ・学校だよりを電子化しメールで配信したが、開封率が半分程度なことについて

(鍵渡) 幼稚園は昨年度から進めている。とてもよく見ている。好評である。

(山本) ペーパーレス化賛成。

(蕪木) 夫婦だと片方がひらかない可能性もある。

(久保田) 「PTA校外便り」もメール配信になりましたね。

(校長) 「見やすくてよい」「外にいてもスマホで下校時間が確認できて助かる」という一部の声は届いている。

6 その他 意見交換 特になし

(校長)

次年度も引き続き学校運営協議会委員として中新田小学校をよろしく申し上げます。今年度末に異動される方は、役職引継ぎで次の方に協議会への委員依頼をお願いします。

中央農業高校へ協議会への参加を依頼しているところです。

R6年度もよろしく申し上げます。